

令和3年度
京都教育大学大学院教育学研究科修士課程
第2次学生募集要項

1. 募集人員

専攻	専修 (コース)	募集対象	募集人員
学校教育	学校教育 (教育・発達心理学)	A型入試、B型入試、C型入試	若干名
	学校教育 (教育臨床心理学)	A型入試、B型入試、C型入試	若干名
教科教育	社会科教育	A型入試、B型入試	若干名
	数学教育	A型入試、B型入試、C型入試	若干名
	理科教育	A型入試、B型入試、C型入試	若干名
	音楽教育	A型入試、B型入試	若干名
	美術教育	A型入試、B型入試	若干名
	家政教育	A型入試、B型入試、C型入試	若干名

- (注) 1 一般受験者を対象とした「A型入試」、現職教員等を対象とした「B型入試」及び外国人留学生を対象とした「C型入試」に分けて実施する。
- (注) 2 「現職教員等」とは、「2. 出願資格 B型入試 (現職教員等対象)」の要件を満たす者をいう。
- (注) 3 「外国人留学生」とは、「2. 出願資格 C型入試 (外国人留学生対象)」の要件を満たす者をいう。
- (注) 4 今年度 (9月実施) 及び前年度の第2次学生募集 (2月実施) の入学者選抜試験の実施状況は、16ページに掲載する。

2. 出 願 資 格

○A型入試（一般受験者対象）

教育職員免許法（昭和24年法律第147号）第4条第2項に規定する「普通免許状」を有する者及び令和3年3月31日までに取得見込みの者で、かつ、次のいずれかに該当する者及び令和3年3月31日までに該当見込みの者

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (6) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であつて、当該者をその後に入学者とする大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者
- (7) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者

(注) 個別の入学資格（出願資格）審査の申請対象者は、次のア.～オ.のいずれかに該当する者

ア. 次の①から④のいずれかに該当し、更に、出願しようとする専修に関連する分野について、2年（修業年限3年の短期大学卒業者にあつては1年）以上の学修歴、研究歴又は実務経験等を有する者

- ① 大学に2年以上在学し、62単位以上修得した者
- ② 短期大学を卒業した者
- ③ 高等専門学校を卒業した者
- ④ 専修学校（修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に必要な総授業時数が1700時間以上である専修学校専門課程）を修了した者

イ. 修業年限2年の短期大学に置かれた修業年限2年の専攻科、修業年限3年の短期大学に置かれた修業年限1年の専攻科、又は高等専門学校に置かれた修業年限2年の専攻科の課程を修了した者

ウ. 各種学校の課程を含めて学校教育等における16年の課程を修了した者

エ. 外国において、学校教育における14年又は15年の課程を修了し、更に、出願しようとする専修に関連する分野について、2年（15年の課程を修了した者にあつては1年）以上の学修歴、研究歴又は実務経験等を有する者

オ. 出願しようとする専修に関連する分野について、大学卒業程度の学修歴、研究歴又は実務経験等を有する者

○B型入試（現職教員等対象）

A型入試（一般受験者対象）の出願資格に該当し、次の要件を満たす者

日本の教育関係機関（学校教育法第1条に規定する幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校並びに都道府県若しくは市区町村の教育委員会及び国公立の教育研究所等）において教員等（常勤）として令和3年3月31日までに3年以上の経験を有する者

なお、幼稚園教諭免許状を有する者で、幼保連携型認定こども園において教員等（常勤）として令和3年3月31日までに3年以上の経験を有する者も現職教員等に含むものとする。

- ・令和3年3月31日以前に退職する予定のときは退職予定日で経験年数を算出する。
- ・1か月未満の場合は1か月として計算する。
- ・休職期間（育児休業、国際派遣等も含む。）は、経験年数に算入しない。

○C型入試（外国人留学生対象）

日本国籍を有しない者で、次のいずれかに該当する者及び令和3年3月31日までに該当見込みの者

- (1) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (2) 外国において、学校教育における12年の課程を修了し、日本において大学を卒業した者
- (3) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者

(注) 個別の入学資格（出願資格）審査の申請対象者は、次の①または②のいずれかに該当する者

- ① 外国において、学校教育における14年又は15年の課程を修了し、更に、出願しようとする専修に関連する分野について、2年（15年の課程を修了した者にあつては1年）以上の学修歴、研究歴又は実務経験等を有する者
- ② 出願しようとする専修に関連する分野について、大学卒業程度の学修歴、研究歴又は実務経験等を有する者

【入学資格（出願資格）審査】

「2. 出願資格 A型入試（6）（7）」又は「2. 出願資格 C型入試（3）」のいずれかの出願資格で出願を希望する者は、入学資格（出願資格）審査を受け、出願資格の認定を得なければならない。

ただし、令和2年度中に本学大学院の入学資格（出願資格）審査を受けて出願資格の認定を受けた者が、第2次募集でも同一の専攻専修（コース）に出願しようとする場合には、改めて出願資格の認定を受ける必要はない。

入学資格（出願資格）審査申請書の記入上の注意をよく読み、次のとおり申請手続を行うこと。

※入学資格（出願資格）審査に必要な書類は本学ホームページからダウンロードすること。

《入学資格（出願資格）審査の申請手続き》

①審査の申請書類（提出書類が、日本語以外の場合は、日本語訳を添付すること。）

- ・ 入学資格（出願資格）審査申請書
- ・ 最終学校の卒業証明書又は在学（籍）証明書
- ・ 最終学校の成績証明書
- ・ 在職（在学）証明書（該当者のみ）
- ・ 学修歴・研究歴等申告書（出願資格 A型入試（7）又はC型入試（3）の該当者）
- ・ 研究従事内容等証明書（出願資格 A型入試（7）又はC型入試（3）の該当者）
- ・ 研究論文等（出願資格 A型入試（7）又はC型入試（3）で提出可能な者）

②審査の方法

書類審査。ただし、書類審査で判断できない場合は、本人に別途通知のうえ、審査を行う。

③審査申請期間

令和2年11月5日(木)～11月6日(金)

9時から17時まで（12時30分から13時30分までを除く）

④審査申請書類の提出先

本学 入試課 入試グループ（本人持参）

⑤審査結果の通知

令和2年11月13日（金）までに、文書で本人に通知する。

3. 出 願 手 続

(1) 出願書類等

書類等の名称	提出該当者	様式	摘 要
① 入学志願書	全 員	本学所定用紙	入学志願書記入上の注意をよく読んで記入すること。
② 履歴書			入学志願書裏面
③ 受験票・写真票	全 員	本学所定用紙	出願前3か月以内に撮影した上半身・無帽写真(4cm×3cm)を貼付すること。
④ 成績証明書	全 員		出身大学長等が作成したもの。厳封のこと。 (コピーガードの施された用紙の場合は、厳封不要。)
⑤ 卒業(見込)証明書	全 員		出身大学長等が作成したもの。
⑥ 教育職員免許状授与証明書 又は 教育職員免許状取得見込証明書	A型入試 B型入試 志 願 者		免許状を授与された都道府県教育委員会から交付された証明書、又は、在学する大学長等が作成した取得見込証明書を提出すること。 ※免許状の写しは不可。
⑦ 研究希望等調書	全 員	本学所定用紙	研究希望等調書記載の【記入上の注意】をよく読んで記入すること。
⑧ 楽譜	音楽教育専修 の実技試験 (作曲)選択者		自作1曲の楽譜を、氏名明記のうえ提出すること。 (提出された楽譜は返還しない。)
⑨ 住民票記載事項証明書 又はパスポートの写し	外国人留学生		市区町村が発行する住民票記載事項証明書又はパスポートの写し(顔写真のあるページ)を提出すること。
⑩ 検定料	全 員	本学所定用紙	30,000円 本学所定の払込用紙を使用し最寄りの郵便局の窓口で払い込み、「振替払込受付証明書」を入学志願書の所定欄に貼付すること。(払込手数料は出願者負担) ※既納の検定料は返還しない。 ただし、次に該当する場合は、該当者からの請求により当該検定料(30,000円)を返還する。 ・出願書類を提出しなかった場合 ・出願書類が不備等により受理されなかった場合 該当者には、検定料返還請求書を送付するので、入試課入試グループまで申し出ること。
⑪ 受験票送付用封筒	全 員	本学所定用紙	封筒に志願者のあて先を明記し、返信用切手(384円分)を貼付すること。
⑫ あて名票	全 員	本学所定用紙	志望する専修・コース名、郵便番号、住所及び氏名を全ての欄に記入すること。
⑬ 在職期間証明書	B型入試 志 願 者	本学所定用紙 又は 任意の様式	任命権者が作成したもの。
⑭ 推薦書	教育委員会等 から派遣の者	本学所定用紙 又は 任意の様式	任命権者が作成したもの。

(注) 1 提出書類が、日本語以外の場合は、**日本語訳を添付**すること。

(注) 2 内容確認のため最終出身学校に照会する場合がある。入学手続後、提出書類に不備が判明したときは、入学を取り消すことがある。

(注) 3 その他大学が指示する必要書類を提出すること。

(2) 出願方法

志願者は、出願書類等を一括し、本学所定の出願用封筒を用いて、下記の出願期間内に郵送すること。

①出願期間

令和2年12月10日（木）から12月15日（火）

(注) ・「書留速達」により郵送すること。

・出願期間後に到着した場合でも、12月15日（火）以前の発信局消印のある「書留速達」に限り有効とする。

②出願書類等の送付先

〒612-8522 京都市伏見区深草藤森町1番地 京都教育大学 入試課 入試グループ

(3) その他

①出願書類等に不備があるときは、受理しないことがある。

②受付後の出願書類等は、いかなる理由があっても変更は認めない。

③出願時に提出した書類等は返還しない。

4. 障がい等のある入学志願者の事前相談

障がい等のある入学志願者で、受験上あるいは修学上の配慮を必要とする者は、令和2年11月24日（火）までに入試課入試グループまで申し出ること。

なお、期限以降であっても、その状況によっては考慮できる場合があるので、申し出ること。

5. 受験票等の発送

受験票及び受験に際しての注意事項等は、令和3年1月中旬に発送する。

6. 選抜方法

入学者の選抜は、学力検査等の成績及び成績証明書等の内容を総合して判定する。

7. 学力検査の日程

(1) 学力検査日

令和3年2月6日(土)

(2) 学力検査場

京都教育大学 京都市伏見区深草藤森町1番地

(3) 学力検査時間割

試験区分 専修(コース)	専門科目	外国語 又は 小論文	口述試験
学校教育 (教育・発達心理学)	10:00~12:00	/	13:00~17:00
学校教育 (教育臨床心理学)			
社会科教育			
数学教育			
理科教育 A型 B型 C型		13:00~14:00	14:30~17:00
		/	13:00~17:00
家政教育 A型 B型 C型		13:00~14:30	15:00~17:00
	/	13:00~17:00	
			音楽教育
音楽教育	音楽科教育Ⅰ 10:30~12:00	/	15:00~17:00
	音楽科教育Ⅱ		
	音楽学 13:00~14:30		
	実技試験		

(注) 口述試験及び実技試験は、終了予定時刻以降に及ぶ場合がある。

8. 学力検査科目

A型入試（一般受験者対象）

（◎は必須科目、○は選択科目）

専攻	専修	専門科目	外国語	外国人留学生に対する措置	口述試験
学校教育	学校教育	(教育・発達心理学コース) ◎心理学一般 ◎教育心理学・発達心理学 (教育臨床心理学コース) ◎心理学一般 ◎教育臨床心理学 (注) 1			◎研究希望等調書等に基づいて行う。
教科教育	社会科教育	◎社会科教育Ⅰ ○社会科教育Ⅱ ○地理分野 ○歴史分野 ○公民分野 } のうちから出願時に 届け出た1科目を選択			◎研究希望等調書に基づいて行う。
	数学教育	◎数学科教育Ⅰ ◎数学基礎 ○数学科教育Ⅱ ○代数学 ○幾何学 ○解析学 ○応用・情報数学 } のうちから出願時に 届け出た1科目を選択 (注) 2			◎研究希望等調書に基づいて行う。
	理科教育	◎理科教育Ⅰ ○理科教育Ⅱ ○物理学 ○化学 ○生物学 ○地学 } のうちから出願時に 届け出た1科目を選択	◎英語		◎「学力検査の内容」を参照
	音楽教育	◎音楽科教育Ⅰ ○音楽科教育Ⅱ ○音楽学 ○声楽(実技試験) ○器楽(実技試験) ○作曲(実技試験) } のうちから出願時に 届け出た1科目を選択 (注) 3			◎研究希望等調書(提出作品を含む)に基づいて行う。
	美術教育	◎美術科教育 ○美術理論・美術史 ○書道理論・書道史 } のうちから出願時に 届け出た1科目を選択			◎研究希望等調書(論文又は作品、参考資料を含む)に基づいて行う。
	家政教育	◎家庭科教育Ⅰ ○家庭科教育Ⅱ ○被服学 ○食物学 ○住居学 ○家庭経営学 ○生活工学 } のうちから出願時に 届け出た1科目を選択 (注) 4	◎英語		◎研究希望等調書に基づいて行う。

(注) 1 教育臨床心理学コースでは、臨床実践を主とするため、高い日本語力を必要とする。

(注) 2 数学教育専修を志望する者

- ①入学後、数学教育分野を主として修学しようとする者は、数学科教育Ⅱを必須とする。
- ②入学後、代数学分野を主として修学しようとする者は、代数学を必須とする。
- ③入学後、幾何学分野を主として修学しようとする者は、幾何学を必須とする。
- ④入学後、解析学分野を主として修学しようとする者は、解析学を必須とする。
- ⑤入学後、応用・情報数学分野を主として修学しようとする者は、応用・情報数学を必須とする。

(注) 3 音楽教育専修を志望する者で声楽の選択者は、伴奏者を同伴すること。

(注) 4 家政教育専修を志望する者は、選択科目については、入学後、主として修学を希望する分野の専門科目を選択すること。

B型入試（現職教員等対象）

（◎は必須科目、○は選択科目）

専攻	専修	専門科目	外国語	小論文	口述試験
学校教育	学校教育	（教育・発達心理学コース） ◎教育心理学・発達心理学 ○心理学一般 } のうちから出願時に ○心理学実践 } 届け出た1科目を選択 （教育臨床心理学コース） ◎教育臨床心理学 ○心理学一般 } のうちから出願時に ○心理学実践 } 届け出た1科目を選択			◎研究希望等調書等に基づいて行う。
教科教育	社会科教育	◎社会科教育Ⅰ ○社会科教育Ⅱ ○地理分野 } のうちから出願時に ○歴史分野 } 届け出た1科目を選択 ○公民分野 } ○社会科教育実践 }			◎研究希望等調書に基づいて行う。
	数学教育	◎数学科教育Ⅰ ◎数学基礎 ○数学科教育Ⅱ ○代数学 ○幾何学 ○解析学 ○応用・情報数学 } のうちから出願時に 届け出た1科目を選択 (注) 1			◎研究希望等調書に基づいて行う。
	理科教育	◎理科教育Ⅰ ○理科教育Ⅱ ○物理学 ○化学 ○生物学 ○地学 } のうちから出願時に 届け出た1科目を選択			◎「学力検査の内容」を参照
	音楽教育	◎音楽科教育Ⅰ ○音楽科教育Ⅱ ○音楽学 ○声楽（実技試験） ○器楽（実技試験） ○作曲（実技試験） } のうちから出願時に 届け出た1科目を選択 (注) 2			◎研究希望等調書（提出作品を含む。）に基づいて行う。
	美術教育	◎美術科教育 ○美術理論・美術史 ○書道理論・書道史 ○美術・書道教育実践 } のうちから出願時に 届け出た1科目を選択			◎研究希望等調書（論文又は作品、参考資料を含む。）に基づいて行う。
	家政教育	◎家庭科教育Ⅰ ○家庭科教育Ⅱ ○被服学 ○食物学 ○住居学 ○家庭経営学 ○生活工学 ○家庭科教育実践 } のうちから出願時に 届け出た1科目を選択 (注) 3			◎研究希望等調書に基づいて行う。

- (注) 1 数学教育専修を志望する者
 ①入学後、数学教育分野を主として修学しようとする者は、数学科教育Ⅱを必須とする。
 ②入学後、代数学分野を主として修学しようとする者は、代数学を必須とする。
 ③入学後、幾何学分野を主として修学しようとする者は、幾何学を必須とする。
 ④入学後、解析学分野を主として修学しようとする者は、解析学を必須とする。
 ⑤入学後、応用・情報数学分野を主として修学しようとする者は、応用・情報数学を必須とする。

(注) 2 音楽教育専修を志望する者で声楽の選択者は、伴奏者を同伴すること。

(注) 3 家政教育専修を志望する者は、選択科目については、家庭科教育実践、または入学後、主として修学を希望する分野の専門科目を選択すること。

C型入試（外国人留学生対象）

（◎は必須科目、○は選択科目）

専攻	専修	専門科目	外国語	口述試験
学校教育	学校教育	(教育・発達心理学コース) ◎心理学一般 ◎教育心理学・発達心理学 (教育臨床心理学コース) ◎心理学一般 ◎教育臨床心理学 (注) 1		◎研究希望等調書等に基づいて行う。
教科教育	数学教育	◎数学科教育Ⅰ ◎数学基礎 ◎数学科教育Ⅱ ○代数学 ○幾何学 ○解析学 ○応用・情報数学 } のうちから出願時に 届け出た1科目を選択 (注) 2		◎研究希望等調書に基づいて行う。
	理科教育	◎理科教育Ⅰ ○理科教育Ⅱ ○物理学 ○化学 ○生物学 ○地学 } のうちから出願時に 届け出た1科目を選択		◎「学力検査の内容」を参照
	家政教育	◎家庭科教育Ⅰ ○家庭科教育Ⅱ ○被服学 ○食物学 ○住居学 ○家庭経営学 ○生活工学 } のうちから出願時に 届け出た1科目を選択 (注) 3		◎研究希望等調書に基づいて行う。

(注) 1 教育臨床心理学コースでは、臨床実践を主とするため、高い日本語力を必要とする。

(注) 2 数学教育専修を志望する者

①入学後、数学教育分野を主として修学しようとする者は、数学科教育Ⅱを必須とする。

②入学後、代数学分野を主として修学しようとする者は、代数学を必須とする。

③入学後、幾何学分野を主として修学しようとする者は、幾何学を必須とする。

④入学後、解析学分野を主として修学しようとする者は、解析学を必須とする。

⑤入学後、応用・情報数学分野を主として修学しようとする者は、応用・情報数学を必須とする。

(注) 3 家政教育専修を志望する者は、選択科目については、入学後、主として修学を希望する分野の専門科目を選択すること。

9. 学力検査の配点

専攻	専修		筆記試験		口述試験	合計
			専門科目 (実技を含む。)	外国語又は小論文		
学校教育	学校教育	教育・発達心理学コース 教育臨床心理学コース	200	—	100	300
教科教育	社会科教育		200	—	100	300
	数学教育		200	—	100	300
	理科教育	A型	200	100	100	400
		B型・C型		—		300
	音楽教育		200	—	100	300
	美術教育		200	—	200	400
	家政教育	A型	200	100	100	400
B型・C型		—		300		

10. 学力検査の内容

専修	試験科目	内 容	留意事項
学校教育	専門科目	<p>【心理学一般】 心理学全般に関する基本的な知識と理解力を問う。</p> <p>【教育心理学・発達心理学】 教育心理学・発達心理学に関する基本的な知識と理解力を問う。</p> <p>【教育臨床心理学】 臨床心理学に関する基本的な知識と理解力を問う。</p> <p>【心理学実践】 子どもの発達や教育相談など、学校・教育に関連することを論述させる。</p>	
	口述試験	研究希望等調書等に基づいて、学校教育専修を志望する動機・目的及び研究計画等や学校教育専修で扱う内容についての基礎的・専門的知識理解を問う。	
社会科教育	専門科目	<p>【社会科教育Ⅰ】 社会科教育の目標・内容・方法に関する基礎的事項や現在の課題などについて問う。</p> <p>【社会科教育Ⅱ】 社会科教育に関する教材の取り上げ方や授業研究などについての理論的・実践的な事項を問う。</p> <p>【地理分野】 地理分野に関する基礎的な事項および総合的な理解力を問う。</p> <p>【歴史分野】 歴史分野に関する基礎的な事項および総合的な理解力を問う。</p> <p>【公民分野】 公民分野に関する基礎的な事項および総合的な理解力を問う。</p> <p>【社会科教育実践】 社会科教育の実践に関して論述させる。</p>	
	口述試験	研究希望等調書に基づいて、社会科教育専修を志望する動機・目的及び研究の計画等について問う。	
数学教育	専門科目	<p>【数学科教育Ⅰ】 数学教育の理念、内容についての基礎的な事柄を問う。</p> <p>【数学基礎】 専修諸分野を学修及び研究するうえで、必要かつ基礎的な事柄を問う。</p> <p>【数学科教育Ⅱ】 数学教育における内容や教材及びその取り上げ方などについて論理的・実践的な立場から問う。</p> <p>【代数学】 入学後、代数学またはその関連分野を研究するために必要な基礎的学力を問う。</p> <p>【幾何学】 入学後、幾何学またはその関連分野を研究するために必要な基礎的学力を問う。</p> <p>【解析学】 入学後、解析学またはその関連分野を研究するために必要な基礎的学力を問う。</p> <p>【応用・情報数学】 入学後、応用・情報数学またはその関連分野を研究するために必要な基礎的学力を問う。</p>	
	口述試験	研究希望等調書に基づいて、数学教育専修を志望する動機・目的ならびに研究の計画等及びその実現可能性の判断材料となる事項等について問う。	

専修	試験科目	内 容	留意事項
理科教育	専門科目	<p>【理科教育Ⅰ】 理科教育に関する概論及び初等・中等教育の理科を研究するうえで必要な物理学、化学、生物学、地学の各分野の基礎について問う。</p> <p>【理科教育Ⅱ】 初等・中等教育の理論的、実践的側面と内容論的側面からの研究について問う。特に内容論については、物理学、化学、生物学、地学の各分野にとらわれずに研究するうえで必要な、自然の事物・現象を包括的に見たり考えたりする能力を重視する。</p> <p>【物理学】 物理学分野における専門的な知識を問う。</p> <p>【化学】 化学分野における専門的な知識を問う。</p> <p>【生物学】 生物学分野における専門的な知識を問う。</p> <p>【地学】 地学分野における専門的な知識を問う。</p>	
	外国語	<p>【英語】 自然科学及びその教育に関する英文の読解力を問う。</p>	☆辞書の持込可 (電子辞書等は使用不可)
	口述試験	<p>次の1. と2. について問う。</p> <p>1. 現在あるいは過去に行った研究(あるいは仕事)の内容、意義について。</p> <p>2. 大学院入学後の研究計画(研究テーマ、方法など)について。 ただし、専門外の人にもわかるように、合計8分以内で答えること。 また、資料などの持込みはできない。黒板を使ってもよい。 (指導を受けたい教員(研究室名)を第2志望まで尋ねることがある。)</p>	
音楽教育	専門科目	<p>【音楽科教育Ⅰ】 音楽教育の教育内容、教育方法、教材等に関する基礎的知識について問う。</p> <p>【音楽科教育Ⅱ】 音楽教育の理念、教育内容、教育方法等に関する小論文</p> <p>【音楽学】 音楽と音楽学に関する基礎知識を踏まえつつ思考し論述する能力を問う。</p> <p>【実技試験】 (声楽) アリア・歌曲を各1曲 (器楽) ① J. S. バッハ：平均律Ⅰ・Ⅱ巻より「フーガ」を1曲 ② 任意のピアノ曲 (作曲) ① 作品提出：自作1曲の楽譜を出願時に提出すること。 (提出された楽譜は返還しない。) ② 与えられた動機により、楽曲を作曲する。</p>	声楽、器楽の志願者は、 演奏はすべて暗譜とし、 繰り返しは省略のこと。
	口述試験	研究希望等調書に基づいて、音楽教育専修を志望する研究の動機・目的及び研究計画等について問う。	

専修	試験科目	内 容	留意事項
美術教育	専門科目	<p>【美術科教育】 美術教育の理念及び方法に関する内容</p> <p>【美術理論・美術史】 広く美術・工芸一般の理論と歴史を前提とする論述</p> <p>【書道理論・書道史】 広く書道一般についての本質的・基本的な内容</p> <p>【美術・書道教育実践】 美術・書道教育の実践に関して論述させる。</p>	
	口述試験	<p>研究希望等調書に基づいて、美術教育専修を志望する動機・目的及び研究の計画等について問う。</p> <p>これまでに行った研究、制作等の内容、意義について問う。</p> <p>現職教員にあつては、教育実践・教育研究・制作活動等を示す資料の提示を求め、研究主題と教育実践との関わりを問う。</p>	
		<p>* A型入試（一般受験者対象） 論文または作品を持参すること。 （指導教員等による論文・作品名、作成・制作年月日を明記した証明書、または関係機関が発行、発刊した本人が作成・制作したことを示す書類を添付すること。様式は任意とする。） これまでの研究、制作活動を示す参考資料を作成し（様式任意）、持参すること。 ※なお、持参する作品は3点以内とし、持参しにくい作品については、写真による提示も可とする。</p> <p>* B型入試（現職教員等対象） 現職教員は、これまでの教育実践・教育研究、制作活動等を示す資料（研究報告書や作品等）を持参すること。 （本人が実践・研究・制作したことが客観的に分かるように示すこと。様式は任意とする。） ※なお、持参する作品は3点以内とし、持参しにくい作品については、写真による提示も可とする。</p>	
家政教育	専門科目	<p>【家庭科教育Ⅰ】 家政教育専修の共通問題として、家庭科教育学に関する基礎的内容を問う。</p> <p>【家庭科教育Ⅱ】 家庭科教育学に関する専門的内容を問う。</p> <p>【被服学】 衣生活に関する基礎的知識を問う。</p> <p>【食物学】 食生活に関する基礎的知識を問う。</p> <p>【住居学】 住生活に関する基礎的知識を問う。</p> <p>【家庭経営学】 家庭経営・家族関係に関する基礎的知識を問う。</p> <p>【生活工学】 生活工学に関する基礎的知識を問う。</p> <p>【家庭科教育実践】 家庭科教育の実践に関して論述させる。</p>	
	外国語	<p>【英語】 家政教育に関する英文の読解力を問う。</p>	☆辞書の持込可 (電子辞書等は使用不可)
	口述試験	<p>研究希望等調書に基づいて、家政教育専修を志望する研究の動機・目的及び計画、専門分野の内容等について問う。</p>	

1 1. 合格発表

令和3年2月18日（木）午前10時

合格者の受験番号を本学のホームページに掲載するとともに、合格者に通知する。
なお、電話等による照会には一切応じない。

1 2. 入学手続

合格者には、入学に際し必要な手続書類等を令和3年2月末日までに送付する。

1 3. 入学料及び授業料

入 学 料 282,000円

授 業 料 (年額) 535,800円

- (注) 1. 上記の入学料及び授業料は、令和2年度入学者の金額であり、令和3年度入学者については、変更する場合がある。
2. 在学中に授業料の改定を行った場合は、改定時から新授業料が適用される。

1 4. 資格取得について

下記の資格等の取得を希望する者は、別冊「令和3年度京都教育大学大学院教育学研究科案内」を参照し、該当する専修・コース等を志望すること。

(第2次募集を実施しない専修・コースもあるので注意すること。)

(1) 「学校心理士」資格

学校教育専修、障害児教育専修では、学校心理士の資格認定（日本教育心理学会他10学会による連合資格）の申請・受験のために必要な科目が開設されている。

(2) 「臨床発達心理士」受験資格

学校教育専修の教育学・幼児教育学コースの幼児教育学と教育・発達心理学コース及び障害児教育専修では臨床発達心理士の受験資格申請のために必要な授業の一部が開設されている。

(3) 専修免許状における「学校心理学」の付記について

教員免許状（1種）を取得済み若しくは大学院修了時に取得の者で、学校教育専修の心理学関係コース等（教育・発達心理学、教育臨床心理学、幼児教育学）に所属し、所定の単位を修得し、大学院を修了すれば、専修免許状の当該欄に「学校心理学」と付記される。

15. その他

- (1) 出願者は、修学しようとする専攻（専修・分野）の修学の形態・方法等について、別冊「令和3年度 京都教育大学大学院教育学研究科案内」を熟読し、事前に十分理解しておくこと。また、必要があれば大学に問い合わせること。
- (2) 京都教育大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「国立大学法人京都教育大学における安全保障輸出管理規則」を定め、外国人留学生の受入れに際し審査を実施している。規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合があるので留意すること。
- (3) 受験のための宿泊施設の斡旋は行わない。
- (4) 過去2年間の入試問題は入試課入試グループで閲覧することができる。
- (5) この募集要項に記載されていることについて変更が生じたときは、必要に応じて通知等を行うことがあるので留意すること。
- (6) 本学大学院教育学研究科の入学試験事務は、下記で取り扱う。
〒612-8522 京都市伏見区深草藤森町1番地 京都教育大学 入試課 入試グループ
- (7) 電話による問い合わせ
問い合わせ時間等は、土曜日、日曜日、祝日及び年末年始（12月29日から1月3日）を除く9時～17時（12時30分～13時30分を除く。）
電話（075）644-8161（問い合わせは原則として、本人が行うこと。）

入学者選抜試験に関する個人情報の取扱いについて

本学が実施する入学者選抜試験において取得した個人情報については、次のとおり取扱います。

1. 個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人京都教育大学個人情報保護規程」に基づき取扱います。
2. 出願書類等に記載された氏名、住所その他の個人情報については、①出願処理、②入学者選抜試験の実施、③合格発表、④入学手続業務、⑤入学者選抜方法改善のための調査・研究及びこれらに付随する業務の実施のために利用します。
3. 出願書類等に記載された個人情報及び入学者選抜試験の成績は、入学者のみ入学後の①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（奨学金、授業料免除、健康管理等）、③授業料等に関する業務を行うために利用します。
4. 入学後の学生生活支援のため京都教育大学生生活協同組合から申し出があった場合は、利用目的を限定したうえで合格者の出願書類等に記載された個人情報のうち氏名及び住所を提供する場合があります。

令和3年度 大学院教育学研究科修士課程入学者選抜試験 実施状況

専攻	専修 (コース)	募集 人員	志願者				受験者				合格者			
			A型	B型	C型	計	A型	B型	C型	計	A型	B型	C型	計
学校教育	学校教育 (教育学・幼児教育学)	約4名	9	3	4	16	9	3	4	16	6	3	0	9
	学校教育 (教育・発達心理学)	約3名	1	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0
	学校教育 (教育臨床心理学)	約10名	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0
	小計	17名	10	4	4	18	10	4	4	18	6	3	0	9
障害児教育	障害児教育	5名	2	4	0	6	2	4	0	6	2	4	0	6
教科教育	国語教育	約3名	6	0	1	7	6	0	1	7	5	0	0	5
	社会科教育	約6名	4	0	1	5	3	0	1	4	2	0	0	2
	数学教育	約3名	1	0	2	3	1	0	2	3	1	0	1	2
	理科教育	約6名	4	1	0	5	4	1	0	5	4	1	0	5
	音楽教育	約3名	2	1	0	3	2	1	0	3	1	1	0	2
	美術教育	約4名	1	0	1	2	1	0	1	2	1	0	1	2
	保健体育	約3名	8	0	0	8	8	0	0	8	4	0	0	4
	技術教育	約3名	3	1	0	4	3	1	0	4	3	1	0	4
	家政教育	約3名	1	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1
	英語教育	約3名	5	0	0	5	5	0	0	5	4	0	0	4
	小計	35名	35	3	5	43	34	3	5	42	26	3	2	31
合計	57名	47	11	9	67	46	11	9	66	34	10	2	46	

※A型には、本学「6年制教員養成高度化コース」からの進学者若干名を含む。

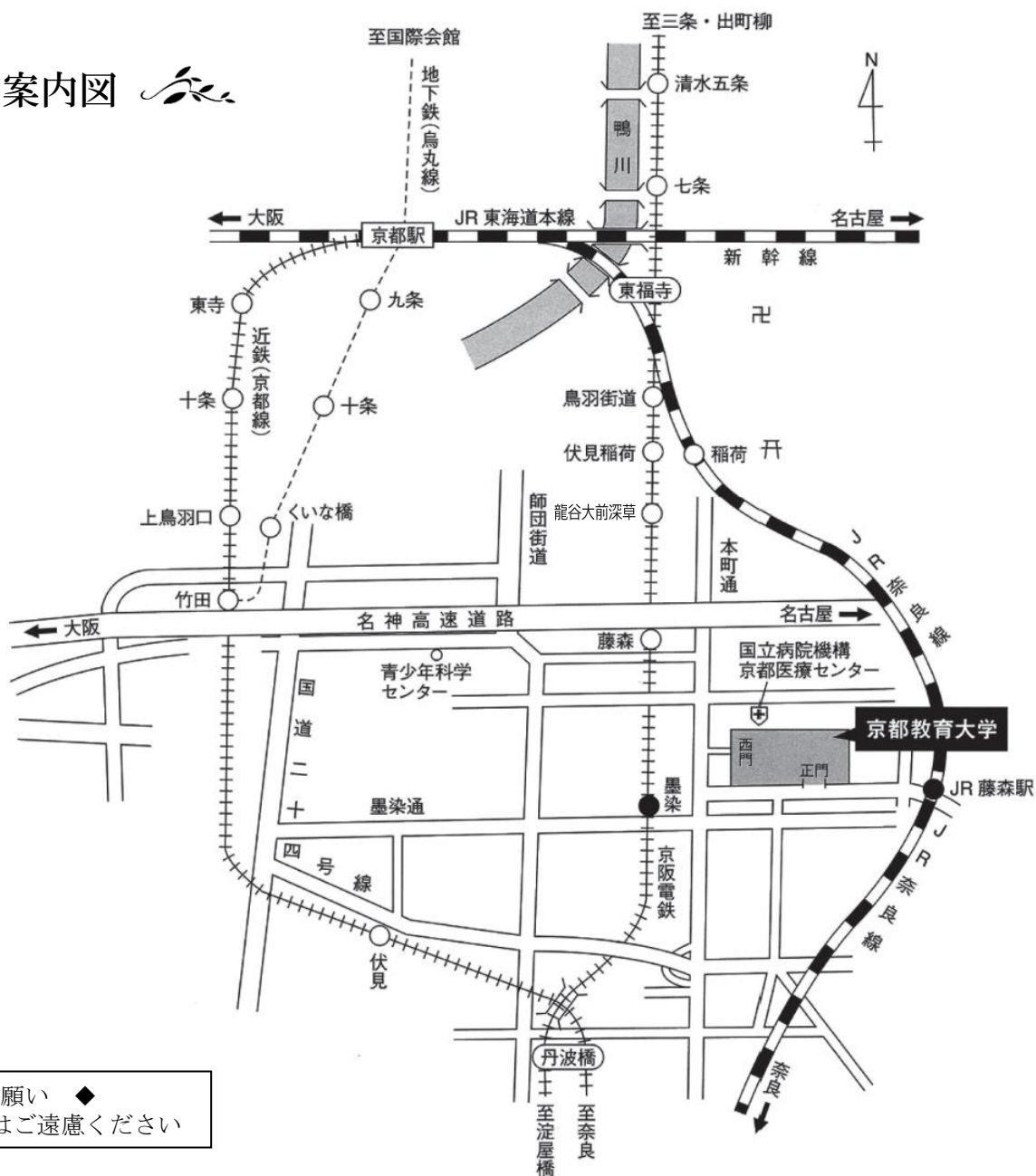
令和2年度 大学院教育学研究科入学者選抜実施状況

◎ 一般入試(第2次募集)

専攻	専修 (コース)	募集人員	志願者				受験者				合格者				入学者			
			A型	B型	C型	計	A型	B型	C型	計	A型	B型	C型	計	A型	B型	C型	計
学校教育	学校教育 (教育学・幼児教育学)																	
	学校教育 (教育・発達心理学)	若干名	1	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1
	学校教育 (教育臨床心理学)	若干名	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0
	小計		1	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1
障害児教育	障害児教育	若干名	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
教科教育	国語教育	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	社会科教育	若干名	1	0	1	2	1	0	1	2	1	0	0	1	1	0	0	1
	数学教育																	
	理科教育																	
	音楽教育																	
	美術教育	若干名	1	0		1	1	0		1	1	0		1	1	0		1
	保健体育																	
	技術教育	若干名	2	0	0	2	2	0	0	2	2	0	0	2	1	0	0	1
	家政教育	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	英語教育																	
小計		4	0	1	5	4	0	1	5	4	0	0	4	3	0	0	3	
合計			5	0	2	7	5	0	2	7	5	0	0	5	4	0	0	4

※ 網掛は、募集を実施しなかった専修(コース)・型

大学案内図



交通案内

○JR利用者

JR奈良線・JR藤森駅下車 徒歩約3分

○京阪電車利用者

京阪・墨染駅下車 徒歩約7分

○近鉄電車利用者

近鉄・丹波橋駅で京阪電車に乗り換え
墨染駅下車

京都教育大学 入試課入試グループ

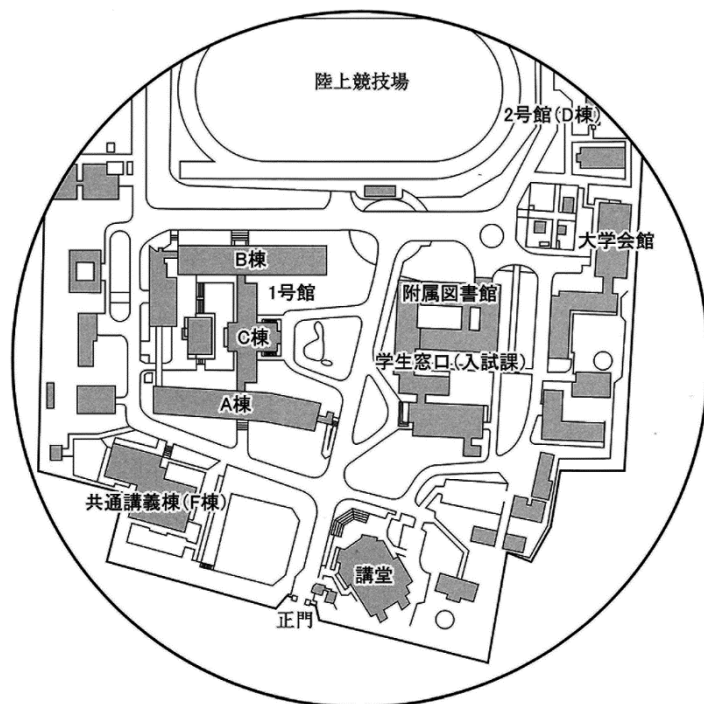
《所在地》

〒612-8522 京都市伏見区深草藤森町1番地

《電話番号》

075-644-8161

学内図



I. 本学の目的

京都教育大学は、学芸についての深い研究と指導とをなし、教養高き人としての知識、情操、態度を養い、併せて教育者として必要な能力を得させることを目的とする。

II. 大学院教育学研究科の教育目的

京都教育大学大学院教育学研究科は、学部における教養あるいは教職経験の上に、広い視野に立って精深な学識を授け教育関係諸科学の研究を深めることにより、教育の理論と実践に関する優れた能力を有する教育者の養成を目的とする。

京都教育大学大学院教育学研究科アドミッション・ポリシー

教育学研究科は、教科及び現代の教育の諸課題を探究するに足る高度な専門性と分析力を養い、学校教育における確かな実践力を培います。また、現職教員には、新たな知識と視野を与え、現場での指導力の深化と向上を図ることを、大切な方針としています。そのため、本研究科では、教育職員免許状を有し、以下のような意欲・資質をそなえた人材を広く求めます。

1. 教育一般や教科教育に関する基本的な知識及び技能をそなえ、また修了後は教員として学校教育に携わる強い意欲を持つこと
2. 教育の現場において現代の多様な教育的諸課題を認識し、その課題解決に向けて主体的、協働的に取り組む意欲を持つこと
3. 教育や教科の専門分野に関する基本的な理解を基にして、理論と実践との往還のなかで自らの関心や問題意識によって思考し、探究できること
4. 自らの研究を遂行し論文にまとめるために必要とされる課題探究力及び論理的な思考力・判断力・表現力を有すること

なお、外国人留学生については、本研究科において専門的視野や知識、教育方法を身につけ、いずれの国においてであれ、学校教育に貢献していこうとする強い意欲を有する人材を受け入れます。

大学院の教育課程等については、別冊の「令和3年度大学院教育学研究科案内」および本学ホームページをご覧ください。